

## 令和4年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和4年12月12日(月)
委員	矢吹 哲哉(委員長:琉球大学名誉教授) 堤 純一郎(琉球大学名誉教授) (五十音順) 仲里 豪 (弁護士) 原田 泰人(公認会計士) 山城 勝 (元沖縄県経営者協会常務理事)

## I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和4年7月1日 ~ 令和4年9月30日	
審議対象件数	88 件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	9 件	(審議概要)
建設一般競争	1 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象期間における契約状況、指名停止状況、低入札価格調査について報告。</li> <li>業務概要、競争参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について説明</li> </ul>
設一般競争(政府調達協定対象外)	4 件	
工指名競争	1 件	
事随意契約	1 件	
建設コンサルタント業務等	5 件	
	意見・質問	回答
	<p><b>【建設工事】</b> 一般競争入札方式 瑞慶覧(R4)既設建物解体土木その他工事</p> <p>○ 本工事は、一括審査となっている「瑞慶覧(R4)既設建物解体工事(その1)～(その3)」と関連はあるのか。</p> <p>○ 多くの辞退者や無効者が出ている理由は何か。</p>	<p>○ 瑞慶覧(R4)既設建物解体工事(その1)～(その3)は既設米軍住宅の撤去・建物解体等を行う建築一式工事である。一方、本工事は、既設給水配管、舗装などの屋外構造物の解体・撤去を行う工事である。</p> <p>○ 辞退した7者にヒアリングを行ったところ、1者は協力会社との調整が整わず辞退、他の1者は入札期限までに工事費の積算が間に合わないとの理由から辞退したとのことであった。残りの5者は、他の工事を落</p>

一般競争入札方式  
普天間（４）格納庫（５１５）  
改修建築その他工事

- 改修工事としては、比較的高額であり、多くの応札者がいたが、３回に及ぶ入札の間に多くの応札者が辞退しているが理由は何か。  
予定価格の積算の考え方も踏まえて教えてほしい。

- ３回目の入札では、参加者のうち企業の能力の点数が低い２者で応札し、そのうち１者が落札しているが、今後の施工体制、品質等を保つためにどういった対応を考えているのか。

- １回目の入札で辞退している者がいるが、その理由は何か。

札したため、本工事に配置予定技術者を配置することが不可能となり辞退したとのことであった。

無効者については、本工事は施工体制確認型を適用しており、無効となった８者の入札金額は、全て調査基準価格を下回り、施工体制確認のヒアリング及び追加資料の提出を求めたところ、何れも辞退したことから入札心得書に基づき無効として取り扱ったものである。

- 本工事は、既設格納庫の防水改修、外壁・内装改修等、建物の全面改修であり、改修工事としては高額となっている。

１回目の各者の入札金額は発注者側の積算価格を大幅に超過しており、ほとんどの工種で金額の乖離があったことから、１回目の開札後に補足説明を行ったものの、利益率等を考慮し、多くの者が辞退したものと考えられる。

また、入札参加者の内訳明細書と発注者側の積算内訳書を比較すると、市場単価や標準歩掛による単価に乖離があったことから、来年度以降、全面改修工事では、実勢価格の乖離が予測できる工種として、見積活用方式を適用することも検討しているところである。

- 他者に比べると、３回目まで応札した２者は技術評価点が低くなっているが、企業及び配置予定技術者に求める能力や施工実績等は満たしており、施工に問題はないと考えている。

工事監理業務と監督官の方で進捗状況、品質管理等に注意し、完成検査等を適切に行っていく。

- 詳細は確認していないが、利益率等を考慮し、辞退したものでないかと思われる。

一般競争入札方式  
嘉手納（４）給油施設（５２）  
１）新設機械工事

- 沖縄本島内の工事であるにもかかわらず、1者応札になった理由は何か。  
また、給油施設の機械工事にはどのような特殊性等があるのか。
- 今回落札した者以外にこのような特殊な工事が施工できる者はいるのか。

一般競争入札方式  
・トリイ（R４）整備施設  
（１００８）新設建築工事

- 予定価格が比較的高額で、応札者も多いが、無効の者が多かった原因を確認したい。

【建設コンサルタント業務】  
一般競争入札方式  
・勝連（４）建築工事監理業務

- 1者応札となっている原因を確認したい。

- 設計をした業者は本業務の

- 本工事は、燃料タンクから航空機に直接、燃料を給油するためのポンプ、配管等の設置工事であり、設置する機材に米国製品が含まれる点や米国の規格に基づく施工の必要があるなど、特殊性の高い工事である。  
このような特殊性の高い本工事の競争参加資格の設定にあたり、品質を確保しつつ競争性を高めるために、配管の施工延長等の実績は求めなかったものの、結果として1者応札となった。
- 落札した者以外にも施工が可能な企業は複数あると思われるが、本工事のような大規模な工事となると沖縄県内の企業では施工が難しい点なども応募者が1者となった原因であると思われる。

- 無効となった者は、調査基準価格を下回ったため、追加資料の提出を求めたが、辞退したことから、無効として取り扱ったものである。無効の者の内訳明細書と発注者側の積算価格を比較すると、地業工事の金額差が原因であったと考えられる。

- 本業務は、隊庁舎新設と車両整備場新設の建築工事を対象工事としているが、対象工事の工程から約8か月の期間、担当技術者に常駐を求めており、長期間、担当技術者が拘束されること等の要因から1者応札となったのではないかと考えている。

- 設計を実施した業者が入札に

入札に参加していないのか。

参加し、受注したものである。

**一般競争入札方式**  
**・西普天間住宅地区（４）磁気探査業務（その１）**

○ 本業務を（その２）以下と併せて一括審査方式としなかったのはなぜか。

○ 本業務と（その２）から（その４）の業務は内容が異なるため、単独のロットとして設定したものである。

○ 入札価格の順位が評価値によって逆転しているため技術評価点等の詳細を確認したい。  
また、２者が入札を辞退しており、辞退理由を確認したい。

○ 本業務を落札した者は過去にも同種業務を数多く履行し、企業及び配置予定技術者の業務成績、優秀業務の項目で高い得点が得られるなど技術評価点が高く、最終的に評価値が最も高かったため落札となった。  
また、２者が辞退した理由をヒアリングしたところ、本案件以外にも複数件の磁気探査業務に参加しており、入札の締切期日までに積算が間に合わないため辞退したとのことであった。

○ 簡易型（１：１）だから技術点と価格評価が点の比率が１：１だという理解でよろしいか。

○ そのとおりである。

○ 技術評価点に大きな差がある場合、入札金額で逆転しようとするれば、入札金額を下げるしかなく、そうすると本件のような労務費が占める業務では競争性の観点からは厳しいように感じられる。今後の入札参加者の確保のためにも評価方法等を検討する必要もあるのではないか。

○ 一括審査方式を活用するなどして、競争性を確保しつつ、より多くの企業に受注してもらい、更なる競争性の向上に繋がるよう努力しているところであるが、ご指摘の意見を踏まえ、来年度以降、総合評価のタイプも含め、対応を検討したいと考えている。

**一般競争入札方式**  
**シュワブ（R4）厚生施設（0553）新設土木設計**

○ 本業務では入札価格の順位が評価値によって逆転している。評価点の詳細及び無効の理由等を確認したい。

○ 本業務は総合評価方式の簡易型を適用しており、企業の能力等を重視して評価を行うものである。落札した者は企業及び配置予定技術者の業務成績と優秀業務表彰の項目において他者と比べて多く加点を得たことにより落札したものである。

無効となった1者は入札金額が品質確保基準価格を下回っており、開札後に第三者履行確認の可否を確認したが、辞退したため入札心得書に基づき入札を無効として取り扱ったものである。

**公募型プロポーザル方式  
シュワブ（R4）統括事業監理  
業務（その2）**

- 業務の名称が「統括事業監理」となっているが、業務の内容はどのようなものか。
- 多数の者が構成員として参加しているが、構成員の数に制限は設けていないのか。
- 受注した企業体では業種等競合する者が構成員に入っているようだが、業務内容が競合することはないのか。
- 業務内容で設計、監理等の様々な種類があると思うが、それぞれの者の得意分野で業務分担するように組織構成しているということか。

- 陸上部で多数実施されている建設工事の設計と工事監理、それらを整理・統合して監理するものであり、業務内容は非常に多岐に渡る。
- 建設コンサルタント業務においては、構成員の数に特に制限は設けていないものの、一の業務を分担することは認めないこととしている。  
なお、共同体が参加する場合、入札への参加申請の際に予め共同体協定書を提出させ、分担業務の内容等を確認することとしている。
- 業務内容が膨大で多岐に渡るため、非常に多数の技術者を配置する必要があり、単体の企業は対応が困難であるため、複数企業でのJVになると考えられる。  
代表者を筆頭にエリアで業務を分担したり、設計と工事監理で業務を分担しているため、業務内容が競合するということはない。
- そのとおりである。

**公募型プロポーザル方式  
シュワブ（R4）水域生物等調査**

- 環境調査やモニタリング業務が少数の会社に集中しているように感じられるが、その

- 本業務の参加資格の設定にあたっては、環境調査の実績があれば入札に参加出来るように門

	<p>原因はなにか。 また1者応募の状況改善に向けての検討状況等を確認したい。</p> <p>○ 調査方法等について他の業者等から提案等はあるのか。</p>	<p>戸を広げて募集をしたところである。 また、複数の者から見積書を徴取するなどし、参加を促しているが、環境監視等委員会の審議を踏まえた対応が必要であることや、過去の調査実績がないということで参加を見送っていると考えられる。 入札公告等資料は複数の者が閲覧しており、参加に向けた検討はしているものと考えているが、結果として1者応札になっている状況である。 当局としても入札参加者を増やすべく、今後も引き続き、見積徴取時に参加を促していくとともに、更に門戸を広げるよう、参加条件の検討を行い改善を図っていきたいと考えている。</p> <p>○ 複数の業者に参加してもらい提案をして頂くことを期待しているところである。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>		

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義件数		0 件	(審議概要)
工	談合情報	0 件	
事	点検結果疑義	0 件	
業	談合情報	0 件	
務	点検結果疑義	0 件	
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>		意見・質問	回 答
		なし	なし
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>		なし	

3. 入札結果の事後的・分析結果について

審議概要			
<p>○委員からの</p>		意見・質問	回 答

意見・質問 ○それに対する 回答等					
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし			
4. 再苦情処理（再説明請求回答）					
再苦情申立件数 （再説明請求件数）		総件数	0 件	（備考）	
建設 工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	指名競争		0 件		
	随意契約		0 件		
建設コンサルタント業務等※			0 件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）		申立日	件 名	契約方式	内容等
		/			
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問		回 答	
		なし		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし			

\* 建設コンサルタント業務等の再苦情処理については、公募型プロポーザル契約方式を除く。

令和4年度 沖縄防衛局入札監視委員会議事概要（海上自衛隊）

開催日及び場所	令和4年12月12日（月） 沖縄防衛局 講堂
委員	矢吹 哲哉（委員長：琉球大学名誉教授） 堤 純一郎（琉球大学名誉教授） 仲里 豪（弁護士） 原田 泰人（公認会計士） 山城 勝（元（一社）沖縄経営者協会 元常務理事）

I 海上自衛隊が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
審議対象案件	5件

1. 入札状況について（入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
	抽出件数	1件
建設工事	一般競争	1件
	随意契約	0件
●委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p>【一般競争】 件名：厚生センター女子便所 その他補修</p> <p>●工事の落札率が100%になった理由について。</p> <p>●結果として落札率が100%になったということか。</p> <p>●見積は複数社からとっているか。</p> <p>●予定価格として採用した見積業者と落札業者は同一か。</p> <p>●積算価格と業者見積価格を比較し、より安価な方を予定価格とする方式は通常の方であるか。</p>	<p>○積算価格と業者見積価格を比較し、より安価である業者見積を予定価格とした結果、同一価格の入札があったため。</p> <p>○そのとおり。</p> <p>○入札参加業者3社全てから見積を徴収している。</p> <p>○同一である。</p> <p>○そのとおり。防衛局は積算価格を予定価格として採用するが、沖縄基地隊では経済性を追求し、積算価格と業者見積価格を比較し、より安価な方を予定価格とする方式を採用している。</p>



令和4年度 沖縄防衛局入札監視委員会議事概要（海上自衛隊）

開催日及び場所	令和4年12月12日（月） 沖縄防衛局
委員	矢吹 哲哉（委員長：琉球大学名誉教授） 堤 純一郎（琉球大学名誉教授） 山城 勝（元（一社）沖縄経営者協会 元常務理事） 原田 泰人（公認会計士） 仲里 豪（弁護士）

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
審議対象案件	1, 117件

1. 入札状況について（入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
	抽出件数	4件
地方調達等	一般競争	2件
	指名競争	0件
	随意契約	2件
	意見・質問	回答
●委員からの意見・質問  ○それに対する回答等	<p><b>【一般競争】</b>                      件名：馬鈴薯 外                      ●落札者の9者は応札者10者の中に含まれるのか。</p> <p>●生鮮食品で特に季節変動が大きいものについても単価契約で問題ないのか。</p> <p>件名：カップラーメン 外                      ●1社応札になった理由は何か。</p> <p>●落札率が低いが自主的に金額をさげてきたのか。</p> <p><b>【公募随契】</b>                      件名：秘匿装置 YSC-23 の移設に伴う現地調査</p>	<p>○そのとおりである。</p> <p>○1か月毎に契約しているため問題ない。</p> <p>○2者の参加が見込まれていたが、1者辞退したためである。</p> <p>○そのとおりである。落札率が低いのは、在庫を保有していたのではないかと推測される。</p>

意見・質問	回答
<p>●公募型の随意契約として同じ装置に関する案件には同じ応札者だけが応募しているがなぜか。</p> <p>●落札業者以外にも条件を満たす会社はあるか。</p> <p>●過去に他の企業が応募してきたことはないのか。</p> <p><b>【不落随意】</b>  件名：# 5 5 9 建物泡消火薬剤及びラバーバックの更新</p> <p>●不落となっている状況及び不落後の処理について確認したい。</p> <p>●変更契約の概要について確認したい。</p> <p>●2回連続で予定価格を超過した後、協議するというの一般的な契約法なのか。</p> <p>●入札参加者が2者の場合はどうするのか。</p> <p>●期限がある場合の契約は、どのくらいの期間で契約するのか。</p>	<p>○複数者が参加できる可能性もあることから、公示しているが結果として応募があったのは1者であった。</p> <p>○把握はしていないが、可能性はある。</p> <p>○ない。</p> <p>○一般競争入札であるが、1回目、2回目と予定価格に達していなかったため、3回目の札を入れてもらい、そこで予定価格に達したため随意契約に移行となったものであり、不落ではない。</p> <p>○泡消火設備の放射試験を所轄消防の立会いの下、実施するとしていたところ、受注業者と消防との調整により、提出資料と各種作業写真により消防署の立合いに替えることとなったものである。</p> <p>○ケースによるが一般的である。</p> <p>○最安値の札を入れた業者と交渉を行う。</p> <p>○リードタイムから逆算し、余裕があれば約1か月で契約するようにしている。</p>